

加盟団体・協力団体の皆様へ

東京 2020 オリンピック競技大会陸上競技日本代表決定のご報告

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本連盟の運営および事業に多大なるご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

本連盟では、東京 2020 オリンピック競技大会の陸上競技日本代表選手 65 名（男子 43 名、女子 22 名）を選考して日本オリンピック委員会（JOC）へ推薦し、7 月 6 日に JOC より認定され正式に決定しましたので、ご報告申し上げます。

65 名という代表選手の人数は、東京 1964 オリンピックの 68 名（男子 52 名、女子 16 名）に次ぐ史上 2 番目の規模で、女子はロンドン 2012 オリンピックの 18 名を上回り初めて 20 名を超えました。1964 年の時は開催国枠もありましたが、今回は開催国の優遇が一切なく、しかもターゲットナンバー制（各種目の出場人数制限）が導入されるという厳しい条件下にありながら、多くの選手が出場権を獲得してくださいました。

これも偏に、選手を長きにわたって大切に育成し、温かくサポートして下さった各加盟団体・協力団体の皆様のお力あつての成果と存じます。改めて御礼申し上げます。

また、昨年から新型コロナウイルスの大きな影響を受け、競技会の開催にも多くの困難があったにもかかわらず、各団体で感染防止策、行政や関係機関との交渉などにご苦労いただき、サトウ食品日本グランプリシリーズの各大会をはじめとする各団体の主催競技会、本連盟主催競技会を開催していただきましたことにも、深く感謝申し上げます。極めてレベルの高いオリンピック参加標準記録を多くの選手が突破し、また各競技会での記録や順位がきめ細かく反映される世界ランキングにより出場権を獲得した選手も相次いだことは、各地の競技会が開催されなければ成し得ませんでした。各団体の皆様のご尽力が、自国開催のオリンピックで多士済々の選手団を編成する原動力となりました。

東京オリンピックの陸上競技は、大会半ばの 7 月 30 日から大会最終日の 8 月 8 日まで、10 日間にわたって開催されます。日本陸上界の代表として戦う選手たちを、全国各地から熱く応援していただければ幸いです。

さらに、来年はオレゴン世界選手権（アメリカ）と杭州アジア大会（中国）、2023 年はブダペスト世界選手権（ハンガリー）、そして 2024 年にはパリオリンピック（フランス）と、大きな国際大会が続きます。今後も引き続き競技会開催、競技者育成、指導者養成など諸方面にご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

梅雨が明ければ暑い夏がやってまいります。皆様、どうぞご自愛ください。

敬具

2021 年 7 月 7 日  
公益財団法人日本陸上競技連盟  
会長 尾縣 貢